

2009年3月期 決算説明会

NHKニッパツ
日本発条株式会社
2009年5月20日

当社の事業運営について

代表取締役社長 天木 武彦

当社の事業運営について

1. 事業方針
2. 中期経営計画「10中計」
3. 配当の考え方

1. 事業方針

① 目標

- ・グローバル経営による企業価値の最大化
- ・お客様に魅力のある商品、サービスの提供
- ・ステークホルダーとの良好な関係の構築

②取巻く環境の悪化

- ・グローバルでの自動車の減産
- ・HDD生産の成長鈍化
- ・半導体市場の低迷

③重点施策

- ・各事業のグローバル成長戦略の実現
内部の改善強化、経営体質の強化
- ・製品、サービスの競争力強化
新製品の開発（電気自動車への対応）
- ・CSR活動の積極的な推進

2. 中期経営計画「10中計」

①2007年11月 「10中計」発表

②前提とする外部環境の激変

- ・世界的な景気減速
- ・消費の減退、自動車の減産
- ・為替変動

③前提条件の激変を踏まえて見直しを指示

3. 配当の考え方

①配当の状況

09年3月期 中間7円 期末3.5円

10年3月期 未定

②配当の考え方

安定的な配当を基本としている。

今後の状況を見極めて判断する。

決算の概要について

執行役員経理部長 瓜生誠二郎

決算の概要について

- ①2008年度実績概要説明
- ②特別損失等
- ③設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:億円)

	2007年度	2008年度	増減額	増減率
売上高	4,849	4,409	▲440	▲9.1%
営業利益	304	105	▲199	▲65.5%
経常利益	313	129	▲184	▲58.8%
当期利益	204	53	▲151	▲74.2%

(単位:億円)

	2007年度	2008年度	増減額	増減率
総資産	4,011	3,249	▲762	▲19.0%
自己資本	1,492	1,160	▲332	▲22.3%
有利子負債	645	861	+216	+33.4%

分野別	項目	2007年度	2008年度	増減額	増減率
懸架ばね	売上高	1,169	1,012	▲157	▲13.4%
	営業利益	48	4	▲44	▲92.8%
	率	4.1%	0.3%	—	—
シート	売上高	1,716	1,699	▲17	▲1.0%
	営業利益	80	35	▲45	▲56.0%
	率	4.7%	2.1%	—	—
精密部品	売上高	1,547	1,324	▲223	▲14.4%
	営業利益	145	43	▲102	▲70.0%
	率	9.3%	3.3%	—	—
産業機器 ほか	売上高	417	374	▲43	▲10.1%
	営業利益	31	23	▲8	▲27.9%
	率	7.5%	6.0%	—	—
合計	売上高	4,849	4,409	▲440	▲9.1%
	営業利益	304	105	▲199	▲65.5%
	率	6.3%	2.4%	—	—

(単位:億円)

(単位:億円)

分野別	項目	2007年度	2008年度	増減額	増減率
日 本	売上高	3,347	3,050	▲297	▲8.9%
	営業利益	200	14	▲186	▲92.9%
	率	6.0%	0.5%	—	—
北 米	売上高	513	458	▲55	▲10.8%
	営業利益	▲4	2	6	—
	率	—	0.4%	—	—
アジア	売上高	989	901	▲88	▲8.8%
	営業利益	108	89	▲19	▲17.8%
	率	10.9%	9.8%	—	—
合計	売上高	4,849	4,409	▲440	▲9.1%
	営業利益	304	105	▲199	▲65.5%
	率	6.3%	2.4%	—	—

事業別・所在地（売上構成比）

項目	日本	北米	アジア	合計
懸架ばね	15%	5%	4%	24%
シート	29%	4%	5%	38%
精密部品	19%	—	8%	28%
産機ほか	10%	—	—	10%
合計	74%	9%	17%	100%

(参考値)

②特別損失等

(1) 連結

減損損失 16億円

繰延税金資産取崩 12億円

(2) 単独

関係会社株式評価損 57億円

(単位:億円)

	07年度実績	08年度実績	09年度予想
設備投資	348	348	119
減価償却費	229	266	231
研究開発費	100	115	109

当面の課題と今後の対応 および今期の見通しについて

常務執行役員経営企画部長 原 章一

1. 当面の課題と今後の対応

- ①国内自動車生産台数前提について
- ②為替前提について
- ③北米事業について
- ④固定費削減策について
- ⑤DDS事業について

2. 今期の見通し

①国内自動車生産台数通期前提について

	08年度	09年度
・国内生産	999万台	→882万台 (▲11.7%)

上期は減産の影響で前期比マイナス、
下期に回復を見込むものの、通期では
マイナスの見通し。

②為替前提について

- 為替レート

95円/米ドル、2.75円/バーツ

- 為替感応度（営業利益への影響）

米ドル; 1円当たり 約3億円/年

バーツ; 0.1円当たり 約1億円/年

③北米事業について

- 08年度に黒字化したが、09年度はマイナスの見通し。さらなる収益の改善を目指す。
- GM、クライスラー向け売掛債権の保証
クライスラー・・・受理
GM・・・申請済

④固定費削減策について

- 労務費削減
- 経費、一般管理費削減
- 設備投資の圧縮

⑤DDS事業について

・HDD需要見通し

08年実績 09年計画
540百万台 467百万台

・09年度サスペンション計画数量(百万個)

第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	予想 合計
132	160	194	202	688

海外拠点は、暦年の四半期。

2. 今期の見通し

①10年3月期計画の考え方

・外部環境の見方

期前半・・・依然として厳しい

期後半・・・回復は見込むものの、
本格回復までには時間
が掛かる

①10年3月期計画の考え方

- ・減収減益は避けられない
- ・収益は通期で黒字を継続

前期に実施した固定費削減策に加え、賞与の見直し・設備投資の圧縮などにより、更なる固定費の削減を行ない、黒字の継続を目指す。

(単位:億円)

	2008年度 実績	2009年度 予想	増減額	増減率
売上高	4,409	3,730	▲679	▲15.4%
営業利益	105	45	▲60	▲57.0%
経常利益	129	50	▲79	▲61.3%
当期利益	53	30	▲23	▲43.0%

分野別	項目	2008年度実績	2009年度予想	増減額	増減率
懸架ばね	売上高	1,012	772	▲240	▲23.7%
	営業利益	4	▲27	▲31	—
	率	0.3%	—	—	—
シート	売上高	1,699	1,445	▲254	▲14.9%
	営業利益	35	26	▲9	▲26.2%
	率	2.1%	1.8%	—	—
精密部品	売上高	1,324	1,190	▲134	▲10.1%
	営業利益	43	31	▲12	▲28.0%
	率	3.3%	2.6%	—	—
産業機器 ほか	売上高	374	323	▲51	▲13.7%
	営業利益	23	15	▲8	▲31.8%
	率	6.0%	4.7%	—	—
合計	売上高	4,409	3,730	▲679	▲15.4%
	営業利益	105	45	▲60	▲57.0%
	率	2.4%	1.2%	—	—

(単位:億円)

分野別	項目	2008年度実績	2009年度予想	増減額	増減率
日本	売上高	3,050	2,745	▲305	▲10.0%
	営業利益	14	22	8	+51.5%
	率	0.5%	0.8%	—	—
北米	売上高	458	323	▲135	▲29.4%
	営業利益	2	▲10	▲12	—
	率	0.4%	—	—	—
アジア	売上高	901	662	▲239	▲26.5%
	営業利益	89	33	▲56	▲62.7%
	率	9.8%	5.0%	—	—
合計	売上高	4,409	3,730	▲679	▲15.4%
	営業利益	105	45	▲60	▲57.0%
	率	2.4%	1.2%	—	—

〔注記〕

業績見通しには、現時点での入手可能な情報と当社の今後の計画等の将来予測が含まれています。国内外の経済事情、為替レート等不確実な要因の状況変化によって、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。